



第41回九十九祭の様子。



2021年度入学者選抜について

北海道医療大学 副学長 黒澤 隆夫



北海道医療大学は創立45年を迎え、その間、薬学部、歯学部、看護福祉学部、心理科学部、リハビリテーション科学部を順次設置し、今年は6番目の学部として医療技術学部を開設しました。完成年次には、学部、大学院及び歯科衛生士専門学校を加え、全学で約3,900人を擁し、「新医療人育成の北の拠点」である医療系総合大学としてより一層の社会貢献が期待されます。

さて、2021年度入試から、「学力の3要素（①基礎的な知識・技能、②思考力・判断力 表現力、③主体性を持ち多様な人々と協働しつつ学習する態度）」を評価する入学試験の導入が義務付けられ、英語については「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能を評価するための外部試験の導入も可能となりました。これは、「高等学校教育」と「大学教育」、そして両者を接続する「大学入学者選抜」を一体的に改革し、それぞれの在り方の転換を図り、新たな価値を創造していく「学力の3要素」を育成・評価することが重要、との考えのもとに導入されるものです。本稿では、新入試についての本学の対応と、関連した志願者数向上へ向けた試みを簡単に紹介させていただきます。

まず、入学志願者を確保するうえで、本学の教育の特徴を明示し、受験生に理解してもらうことが必要であり、「教育の3方針」の抜本的な見直しを図りました。即ち、「卒業時にはどのような能力を身につけることができるか」を示す「学位授与の方針（DP）」、「能力修得のためにどのような教育を受けるのか」を示す「教育課程編成・実施の方針（CP）」を定め、各方針に対応しうる能力・意欲・適性を持った多様な人材を求める「入学者受入れの方針（AP）」を明示し、今後の入学者選抜法と志願者の志望動機との整合を図りました。これをもとに、本学では、

2021年度入試以降については、従来と同様にAO方式（総合型選抜）、推薦（学校推薦型選抜）、一般（一般選抜）、センター（共通テスト利用選抜）の各選抜入試を行う予定であり、それぞれの選抜方法は、各学科が定める「入学者受入れの方針」に示された多様な特性のどれを重視するかに対応したものとなります。例えば、「保健・医療・福祉活動を通じて社会に貢献しようとする意欲がある人」を対象とする選抜入試では、「学力の3要素」の③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を主として評価することになりますが、他の2要素である①、②についても評価が求められます。そのため、従来に比べて多大な労力を割くことが予想されますが、本学のすべての選抜方法は、「アドミッション・ポリシー」に基づいて実施し、「学力の3要素」を保証可能な評価を行うことをめざしています。

さらに、給付型奨学金制度の充実をより一層進め、すでに運用している「夢つなぎ入試（入学金全額、初年度の授業料半額を免除）」や「福祉・介護人材育成奨学生（4年間学納金総額90万円）」をはじめ、学費を国立大学と同水準とする「薬学部特待奨学生」「歯学部特待奨学生」に授業料を半額とするA特待の区分を2020年度入試から追加しました。また、2020年度一般入学生から臨床福祉学科の学納金を年額99万円に減額し、入学生に対する財政的負担の軽減に努め、幅広く有為な入学志願者の獲得をめざしていきます。

以上、志願者増の対策を含めた本学の新入試制度の現況を紹介させていただきました。新入試スタートに向けて確実な対応を期して粛々と準備を進めており、今後とも皆さんの応援をお願いいたします。

CONTENTS

2021年度入学者選抜について	1
教員役職者・新任教員・昇任教員等紹介	2
2019年度入試結果報告	3
国家試験結果報告	4
就職状況結果報告	5
あのととき、これから。医療大。	6
OB訪問 [理学療法学科]	7
REPORTS Sapporo Ainosato Campus	8
STUDENTS' ACTIVITIES [YOSAKOIソーラン祭り部] ずっと健康でいて欲しい!!はつらつ教室 ～保健師養成コース学生によるがん予防教室～	10
Seminar Reports からだゼミナール2019	11
TOPICS	12
EDITOR'S NOTE	

教員役職者・新任教員・昇任教員等紹介

新規選出教員役職者

歯科クリニック 院長	齋藤 隆史	歯科クリニック 副院長	飯嶋 雅弘	歯学部附属歯科 衛生士専門学校長	齊藤 正人
歯学部	学部長	古市 保志			
看護福祉学部	学部長	三国 久美			
	看護学科長	竹生 礼子			

看護福祉学部	学生部副部長	濱田 淳一
	学生部副部長	向谷地 生良
心理科学部	学生部長	安部 博史
	学生部副部長	田村 至
リハビリテーション科学部	副学部長	小島 悟
	言語聴覚療法学科長	中川 賀嗣
	学生部長	近藤 里美

リハビリテーション科学部	教務部副部長	鎌田 樹寛
	学生部副部長	田村 至
医療技術学部	学部長	幸村 近
	教務部長	吉田 繁
	学生部長	田中 真樹
	教務部副部長	松尾 淳司
	学生部副部長	遠藤 輝夫

新規特任教員

薬学部	教授	齊藤 浩司
	教授	笠師 久美子

看護福祉学部	教授	平 典子
	特任講師	今野 多美子

リハビリテーション科学部	今井 智子
予防医療科学センター	小林 國彦

新任教員

薬学部教授
(創薬化学(医薬化学))
西 剛秀 (にし たかひで)
北海道大学薬学部創薬化学専攻、北海道大学薬学部修士課程修了。三共(株)化学研究所長、第一三共(株)CEO兼Daichi Sankyo Life Science Research Center in India (RO) President、等を経て、本学就任。薬学博士。

薬学部教授
(衛生薬学(環境衛生学))
小島 弘幸 (こじま ひろゆき)
北海道大学薬学部卒業。同大学院薬学研究科修士課程修了。第一製薬株式会社中央研究所安全性研究センター所員、北海道立衛生研究所薬部毒物部長等を経て、本学就任。医学博士。

薬学部教授
(薬学教育推進(薬学教育支援室))
中川 宏治 (なかがわ こうじ)
北海道大学薬学部総合薬学専攻卒業。同大学院薬学研究科生体分子薬学専攻修士課程修了。日本学術振興会特別研究員、北海道大学遺伝子病制御研究所非常勤研究員、大学院薬学研究科助教等を経て、本学就任。薬学博士。

薬学部講師
(薬理学(薬理学))
水野 夏実 (みずの なつみ)
北海道医療大学薬学部総合薬学専攻卒業。東北大学大学院薬学研究科修士課程修了。富山大学医学部薬学研究所医学部分子医科学薬理学講座助教等を経て、本学就任。薬学博士。

薬学部講師
(実務薬学(実務薬学教育研究))
早坂 敬明 (はやさか ともあき)
東日本学術大学院薬学部卒業。東日本学術大学院薬学研究科薬学専攻修士課程修了。日本レタロー株式会社札幌支店 医薬営業部主任、医療法人徳洲会札幌徳洲会病院薬部副主任等を経て、本学就任。薬学博士。

歯学部教授
(口腔生物学系(微生物学))
永野 恵司 (ながの けいじ)
岐阜薬科大学製薬薬学専攻卒業。岐阜薬科大学微生物学講座准教授、カリフォルニア大学(アーバイン)分子細胞生物学博士研究員、愛知学院大学歯学部微生物学講座准教授等を経て、本学就任。薬学博士。

看護福祉学部講師
(臨床福祉学科介護福祉学)
下山 美由紀 (しもやま みゆき)
北北十看護専門学校卒業。本学大学院看護福祉学研究科修士課程修了。黒山北十病院看護師、同看護婦長等を経て、本学就任。

看護福祉学部講師
(臨床福祉学科福祉学)
中田 雅美 (なかた まさみ)
関西福祉科学大学社会福祉学部福祉学専攻卒業。日本福祉大学大学院社会福祉学専攻修士課程修了。札幌学院大学人文学部特別任用准教授等を経て、本学就任。社会福祉学博士。

リハビリテーション科学部講師
(理学療法学科)
大須田 祐亮 (おおすだ ゆうすけ)
札幌医科大学保健健康学部理学療法学科卒業。同大学院保健健康学研究科修士課程修了。北海道清生会西小樽病院みどりの理学療法士、北翔大学人間福祉学部非常勤講師等を経て、本学就任。理学療法学博士。

医療技術学部教授
(臨床検査学科)
遠藤 輝夫 (えんどう てるお)
弘前大学医療技術短期大学部衛生技術学科卒業。札幌医科大学大学院医学研究科地域医療人間総合医学専攻医学博士課程修了。札幌医科大学附属病院検査部主任技師等を経て、本学就任。医学博士。

医療技術学部教授
(臨床検査学科)
坊垣 暁之 (ぼうがき としゆき)
旭川医科大学医学部医学科卒業。北海道大学大学院医学研究科修士課程修了。釧路赤十字病院内科医師、力外(ロ)大博士後研究員、北海道大学病院内科II助教等を経て、本学就任。医学博士。

医療技術学部講師
(臨床検査学科)
山崎 智弘 (やまざき ともひろ)
北海道大学医学部保健学科卒業。同大学院保健健康学部保健健康学専攻修士課程修了。日本学術振興会特別研究員、香海学院大学健康福祉学部講師を経て、本学就任。保健科学博士。

予防医療科学センター講師
(医学部門)
島田 康亮 (しまだ やすあき)
広島大学医学部医学科卒業。昭和会丸大町病院医師、労働保健健康センター消防病院(心臓内科)医師、JCHO札幌北産医師(総合診療)医師、時計記念病院(一般内科)医師等を経て、本学就任。

予防医療科学センター講師
(医学部門)
金 学海 (じん しゅえい)
中国医科大学臨床医学科卒業。同大学院医学研究科眼科専攻修士課程修了。北海道大学病院後期研修滝川市立病院(眼科)医師、時計記念病院(眼科)医師等を経て、本学就任。医学博士。

予防医療科学センター部准教授
(医学部門)
田中 雅則 (たなか まさのり)
北海道大学医学部医学科卒業。愛育病院内科医師、室蘭太平洋病院内科医師、北海道大学医学部付属病院内第3内科医師、札幌道徳病院内科医師、愛育病院内科血液内科医師等を経て、本学就任。医学博士。

歯学部
助教(口腔機能修復・再建学系(クラウンブリッジインプラント補綴学)) 山口 摂崇
助教(生体機能・病態学系(臨床口腔病理学)) 森川 哲郎
助教(口腔構造・機能発育学系(歯科矯正学)) 櫻尾 治奈
任期制助手(口腔機能修復・再建学系(う蝕制御治療学)) 谷口 未季
任期制助手(口腔機能修復・再建学系(高度先進保存学)) 山本 直弥
任期制助手(口腔機能修復・再建学系(咬合再建補綴学)) 佐藤 夏彩
任期制助手(口腔機能修復・再建学系(クラウンブリッジインプラント補綴学)) 三上 進
任期制助手(口腔機能修復・再建学系(高度先進保存学)) 内山 明生
任期制助手(口腔機能修復・再建学系(デンタル歯科医学)) 伊藤 亜希子
任期制助手(口腔機能修復・再建学系(高度先進保存学)) 坂本 智彦
任期制助手(生体機能・病態学系(顎顔面口腔科学)) 関 姫乃
任期制助手(生体機能・病態学系(高齢者歯科医学)) 三重野 花菜
特別研究員(歯学研究科) 邱 友靖
助教(看護学成人看護学) 高橋 啓太
助教(看護学地域看護学) 南山 斗志世
助教(看護学臨床看護学) 澤谷 啓行
助教(看護学老年看護学) 船橋 久美子

心理科学部 助教(臨床心理学) 福田 実奈
リハビリテーション科学部 助教(理学療法学科) 多田 菊代
助教(言語聴覚療法学科) 熊谷 萌

医療技術学部 助教(臨床検査学科) 小野 誠司
助教(臨床検査学科) 沖野 久美子

予防医療科学センター 助教(医学部門) 西村 萌美
歯科衛生士専門学校 専任教員 秋元 奈美
山形 摩紗

昇任教員

薬学部講師
(創薬化学(医薬化学))
阿部 匠 (あべ たくみ)
本学薬学部総合薬学専攻卒業。北海道大学大学院薬学研究科薬学専攻修士課程修了。日本レタロー株式会社札幌支店 医薬営業部主任、医療法人徳洲会札幌徳洲会病院薬部副主任等を経て、本学就任。薬学博士。

看護福祉学部教授
(看護学地域看護学)
工藤 禎子 (くどう よしこ)
千葉大学看護学部卒業。北海道大学大学院保健科学部保健科学専攻修士課程修了。社会福祉法人鶴寿会特別養護老人ホーム松島園、本学看護福祉学部講師等を経て、教授昇任。看護学博士。

看護福祉学部准教授
(看護学実践基礎看護学)
明野 伸次 (あけの しんじ)
本学看護福祉学部看護学専攻卒業。同大学院看護福祉学研究科看護学専攻修士課程修了。医療法人五稜会病院精神科急性期病棟看護婦、本学看護福祉学部看護学専攻講師等を経て、准教授昇任。

看護福祉学部講師
(臨床福祉学科介護福祉学)
池森 康裕 (いけもり やすひろ)
札幌医療福祉専門学校介護福祉学科卒業。北北十大学大学院総合福祉学専攻福祉学専攻修士課程修了。社会福祉法人民生会特別養護老人ホーム当別長寿園介護員、本学介護福祉学講座助教等を経て、講師昇任。

リハビリテーション科学部教授
(言語聴覚療法学科)
田村 至 (たむら いたる)
慶應義塾大学法政学部政治学科、同文学部仏文学科卒業。上智大学大学院外国語学専攻言語学専攻修士前期課程修了。本学リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科准教授等を経て、教授昇任。医学博士。

リハビリテーション科学部講師
(作業療法学科)
桜庭 聡 (さくらば ともとし)
北海道大学医学部保健学科卒業。同大学院保健科学部保健科学専攻修士課程修了。社会医療法人北斗北斗病院作業療法士、本学リハビリテーション科学部作業療法学科准教授等を経て、講師昇任。保健科学博士。

医療技術学部教授
(臨床検査学科)
田中 真樹 (たなか まき)
東日本学術大学院歯学部歯科学専攻卒業。本学大学院歯学研究科歯科学専攻修士課程修了。医療法人白水会水の美歯科医歯士、米国John Wayne Cancer Institute研究員、本学准教授等を経て、教授昇任。歯学博士。

全学教育推進センター教授
(英語)
足利 俊彦 (あしかが としひこ)
中央大学文学部卒業。米田(ロ)ピア大学教育学部大学院英語教授法専攻修士課程修了。同大学院応用言語学専攻修士課程単位取得満期退学。立教大学嘱託講師、本学全学教育推進センター薬学部准教授等を経て、教授昇任。

全学教育推進センター教授
(物理学)
長谷川 敦司 (はせがわ かつし)
電気通信大学電気通信学部物理工学科卒業。北海道大学大学院理学研究科物理学専攻修士課程修了。日本学術振興会特別研究員、本学全学教育推進センター薬学部准教授等を経て、教授昇任。理学博士。

全学教育推進センター准教授
(化学)
堀内 正隆 (ほりうち まさたか)
横浜国立大学教育学部小学校教員養成課程卒業。同工学研究科物質工学専攻修士課程修了。北海道大学大学院薬学専攻研究員、本学全学教育推進センター薬学部講師等を経て、准教授昇任。工学博士。

全学教育推進センター准教授
(哲学)
森元 良太 (もりもと りょうた)
慶應義塾大学工学部機械工学科卒業。同大学院工学研究科物質工学専攻修士前期課程修了。慶應義塾大学理工学部非常勤講師、本学全学教育推進センター心理科学部等を経て、准教授昇任。哲学博士。

薬学部 助教(薬理学(薬理学)) 遠藤 朋子
歯学部 助教(口腔構造・機能発育学系(歯科矯正学)) 川村 尚彦

配置替

薬学部	准教授(薬理学(病態生理学))	町田 拓自
医療技術学部	全学教育推進センター 講師(英語)	白鳥 亜矢子
学部	全学教育推進センター 講師(化学)	鈴木 喜一

2019年度 入試 結果報告

本年度の志願者数は
4,669名

本年度入試の志願者総数は、前年比1.5%減少の4,669名となりました。志願者の最も多かった学科は看護学科993名で、次に薬学部727名という結果でした。

編入学試験の
志願総数は26名

本学全体では26名が編入学を志願しました。うち17名が入学し、実質競争倍率は1.4倍でした。

専門学校志願者の
約9割がAO方式入試を利用

毎年志願者の多くがAO方式入試を利用して入試しています。AO方式入試の志願者は18名で、全体の約90%を占めました。

2019年度入試結果

		薬学部	歯学部	看護福祉学部		心理科学部	リハビリテーション科学部			医療技術学部	歯学部附属歯科衛生士専門学校	
		薬学科	歯学科	看護学科	臨床福祉学科	臨床心理学科	理学療法学科	作業療法学科	言語聴覚療法学科	臨床検査学科	歯科衛生科	
AO方式入試	志願者数	25名	18名	27名	5名	15名	43名	13名	20名	25名	18名	
	受験者数	25名	18名	27名	5名	15名	43名	13名	20名	25名	18名	
	合格者数	24名	17名	10名	5名	14名	15名	10名	18名	13名	18名	
	入学者数	24名	17名	10名	5名	14名	15名	10名	18名	13名	17名	
	実質倍率	1.0倍	1.1倍	2.7倍	1.0倍	1.1倍	2.9倍	1.3倍	1.1倍	1.9倍	1.0倍	
一般推薦入試	志願者数	13名	1名	44名	0名	3名	29名	4名	2名	22名	2名	
	受験者数	13名	1名	44名	—名	3名	29名	4名	2名	22名	2名	
	合格者数	11名	1名	18名	—名	3名	13名	3名	2名	20名	2名	
	入学者数	11名	1名	18名	—名	3名	13名	3名	2名	20名	2名	
	実質倍率	1.2倍	1.0倍	2.4倍	—倍	1.0倍	2.2倍	1.3倍	1.0倍	1.1倍	1.0倍	
指定校特別推薦入試	志願者数	34名	4名	32名	12名	14名	16名	7名	10名	—	—	
	受験者数	34名	4名	32名	12名	14名	16名	7名	10名	—	—	
	合格者数	34名	4名	32名	12名	14名	16名	7名	10名	—	—	
	入学者数	34名	4名	32名	11名	14名	16名	7名	10名	—	—	
	実質倍率	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	—	—	
一般前期入試	志願者数	1日目	191名	58名	331名	91名	127名	151名	161名	101名	75名	—
		2日目	134名	64名	234名	69名	99名	118名	124名	90名	60名	—
	受験者数	1日目	185名	56名	326名	89名	125名	151名	160名	101名	74名	—
		2日目	121名	57名	213名	64名	95名	114名	120名	87名	56名	—
	合格者数	168名	79名	112名	94名	126名	77名	88名	101名	70名	—	
	入学者数	46名	23名	42名	2名	17名	34名	8名	11名	36名	—	
一般後期入試	志願者数	32名	79名	38名	19名	27名	31名	36名	26名	25名	1名	
	受験者数	27名	68名	38名	18名	25名	30名	35名	24名	23名	1名	
	合格者数	17名	62名	5名	18名	23名	4名	14名	22名	5名	1名	
	入学者数	4名	11名	1名	4名	4名	3名	4名	3名	3名	1名	
	実質倍率	1.6倍	1.1倍	7.6倍	1.0倍	1.1倍	7.5倍	2.5倍	1.1倍	4.6倍	1.0倍	
センター前期A入試	志願者数	196名	142名	204名	71名	97名	138名	133名	91名	—	—	
	受験者数	196名	142名	204名	71名	97名	138名	133名	91名	—	—	
	合格者数	105名	127名	46名	67名	74名	40名	57名	65名	—	—	
	入学者数	24名	15名	6名	8名	9名	7名	7名	5名	—	—	
	実質倍率	1.9倍	1.1倍	4.4倍	1.1倍	1.3倍	3.5倍	2.3倍	1.4倍	—	—	
センター前期B入試	志願者数	80名	47名	65名	45名	65名	48名	43名	36名	—	—	
	受験者数	80名	47名	65名	45名	65名	48名	43名	36名	—	—	
	合格者数	50名	42名	24名	43名	61名	17名	24名	35名	—	—	
	入学者数	19名	6名	5名	8名	10名	7名	4名	9名	—	—	
	実質倍率	1.6倍	1.1倍	2.7倍	1.0倍	1.1倍	2.8倍	1.8倍	1.0倍	—	—	
センター後期入試	志願者数	20名	23名	17名	14名	26名	9名	13名	13名	—	—	
	受験者数	20名	23名	17名	14名	26名	9名	13名	13名	—	—	
	合格者数	17名	22名	4名	14名	26名	3名	10名	9名	—	—	
	入学者数	2名	6名	2名	2名	4名	0名	5名	2名	—	—	
	実質倍率	1.2倍	1.0倍	4.3倍	1.0倍	1.0倍	3.0倍	1.3倍	1.4倍	—	—	
社会人特別選抜入試	志願者数	2名	0名	1名	0名	0名	0名	1名	0名	—	—	
	受験者数	2名	—名	1名	—名	—名	—名	1名	—名	—	—	
	合格者数	1名	—名	0名	—名	—名	—名	1名	—名	—	—	
	入学者数	1名	—名	0名	—名	—名	—名	1名	—名	—	—	
	実質倍率	2.0倍	—倍	0倍	—倍	—倍	—倍	1.0倍	—倍	—	—	
TOTAL	志願者数	727名	436名	993名	326名	473名	583名	535名	389名	207名	21名	
	受験者数	703名	416名	967名	318名	465名	578名	529名	384名	200名	21名	
	合格者数	427名	354名	251名	253名	341名	185名	214名	262名	108名	21名	
	入学者数	165名	83名	116名	40名	75名	95名	49名	60名	72名	20名	
	実質倍率	1.6倍	1.2倍	3.9倍	1.3倍	1.4倍	3.1倍	2.5倍	1.5倍	1.9倍	1.0倍	

※医療技術学部の指定校特別推薦入試、センター試験利用入試、社会人特別選抜入試は2020年度入試から実施

国家試験 結果報告

各国家試験で本学卒業生が大健闘!

本学 全国平均



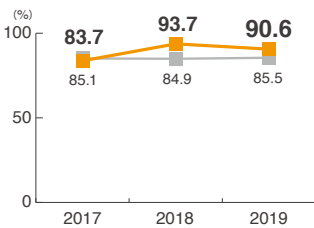
薬学部

(第104回 薬剤師国家試験)

道内の私大で第1位となる、90.6%の新卒合格率。全卒業生の免許取得率は97.0%。

2019年2月、第104回薬剤師国家試験が行われました。本学からは新卒者138名が受験し、合格者は125名。合格率は道内私大第1位の90.6%となりました。なお、薬学部卒業生総数5,907名の97.0%にあたる5,727名が薬剤師免許を取得しています。

■ 本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)



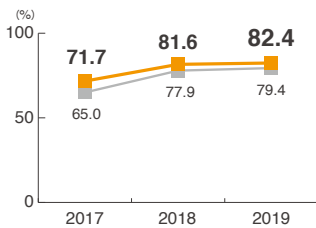
歯学部

(第112回 歯科医師国家試験)

新卒合格率82.4%。全国の私立歯科大学歯学部17校中6位の好成績。

2019年2月、第112回歯科医師国家試験が行われました。新卒合格率は82.4%(受験者51名・合格者42名)と、私立歯科大学歯学部17校中6位の結果でした。なお、歯学部卒業生総数3,257名のうち、98.3%にあたる3,201名が歯科医師免許を取得しています。

■ 本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)



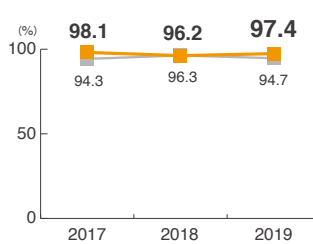
看護福祉学部/看護学科

(第108回 看護師国家試験)

看護師合格率は全国平均を上回る97.4%。111名が看護師免許を取得。

2019年2月、第108回看護師国家試験が行われました。本学の看護師の新卒合格率は97.4%(受験者114名・合格者111名)となりました。

■ 本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)

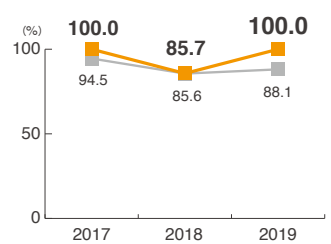


(第105回 保健師国家試験)

新卒合格率は100%。14名が看護師と保健師の同時取得を実現。

2019年2月、第105回保健師国家試験が行われました。本学の保健師の新卒合格率は100.0%(受験者14名・合格者14名)となりました。14名が看護師と保健師の同時取得を実現しています。

■ 本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)



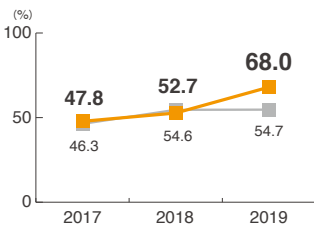
看護福祉学部/臨床福祉学科

(第31回 社会福祉士国家試験)

社会福祉士国家試験合格率は道内の国公私立大で第1位の新卒合格率を達成。

2019年1月、社会福祉士国家試験が行われました。厚生労働省の発表による社会福祉士国家試験の本学新卒合格率は68.0%(受験者50名、合格者34名)と、道内の国公私立大で第1位の好成績でした。

■ 本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)

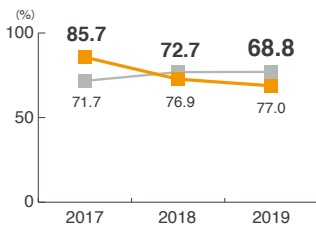


(第21回 精神保健福祉士国家試験)

合格者の多くが社会福祉士とのダブルライセンスを取得。

2019年1月、精神保健福祉士国家試験が行われました。厚生労働省の発表による精神保健福祉士国家試験の本学新卒合格率は68.8%(受験者16名、合格者11名)と、全国平均を上回る好成績を収めました。

■ 本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)



(第31回 介護福祉士国家試験)

新卒合格率は100%。受験者全員が介護福祉士免許を取得。

2019年1月、第31回介護福祉士国家試験が行われました。本学の介護福祉士の新卒合格率は100.0%(受験者3名)を達成しました。

■ 2019年合格率(新卒)

100.0%
[養成施設 全国平均83.7%]

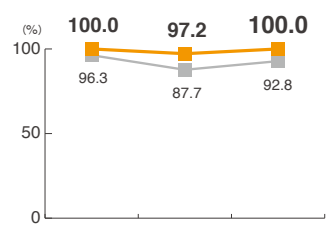
リハビリテーション学部/理学療法学科

(第54回 理学療法士国家試験)

100%の新卒合格率。全卒業生の免許取得率も100%。

2019年2月、第54回理学療法士国家試験が行われました。本学からは、3期生となる新卒者77名が受験し、見事全員が合格。100%の合格率を達成しました。また、免許取得率も100%。1期から3期までの全卒業生が理学療法士免許を取得しています。

■ 本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)



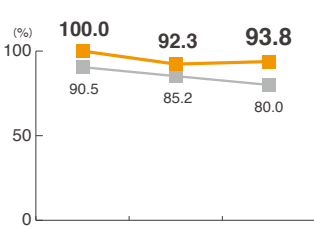
リハビリテーション学部/作業療法学科

(第54回 作業療法士国家試験)

全国平均を大きく上回る合格率。3期連続の好成績。

2019年2月、第54回作業療法士国家試験が行われました。本学からは3期生となる、新卒者32名が受験し、30名が合格。全国平均80.0%を大きく上回る、93.8%の合格率を達成しました。

■ 本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)



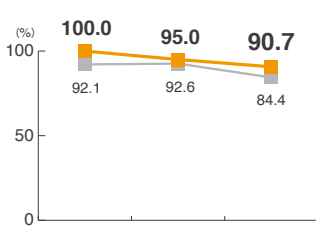
リハビリテーション学部/言語聴覚療法学科

(第21回 言語聴覚士国家試験)

90.7%と全国平均を上回る合格率。全卒業生の97.0%が免許を取得。

2019年2月、第21回言語聴覚士国家試験が行われました。本学からは新卒者43名が受験、39名が合格し、合格率は90.7%。全国平均を上回る結果となりました。なお、本学科の全卒業生768名のうち、97.0%にあたる745名が言語聴覚士免許を取得しています。

■ 本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)



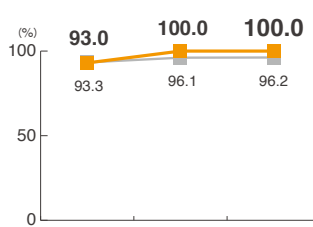
歯学部附属歯科衛生士専門学校

(第28回 歯科衛生士国家試験)

歯科衛生士国家試験は開校以来、資格取得率99.9%!

本校卒業生は開校以来、2019年3月卒業の33期生まで、99.9%と高い国家資格取得率を堅持しています。また、33期生は前年度卒業生に続いて、歯科衛生士国家試験合格率100%を達成。全国平均の96.2%を上回る結果となりました。

■ 本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)



就職状況 結果報告

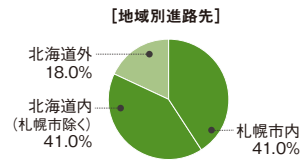
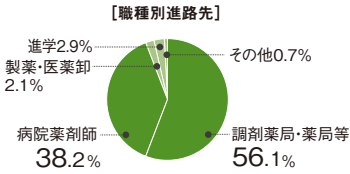
本学卒業生への評価の高さが、求人の質・量に直結。
より深い知識修得をめざし大学院へ進学する人も。

薬学部

2019年も4,000人を超える
求人が寄せられ、高い就職率を維持。

■2019年3月
卒業生の就職先

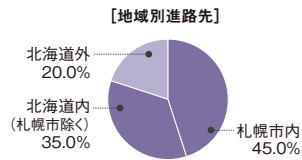
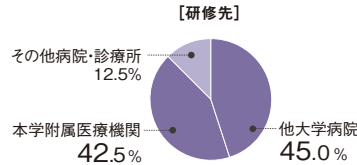
求人数	薬剤師……………4,447人 MR・研究・開発職…282人
-----	----------------------------------



歯学部

卒業後は、臨床能力の
向上をめざし、研修歯科医の道へ。

■2019年3月
卒業生の研修先

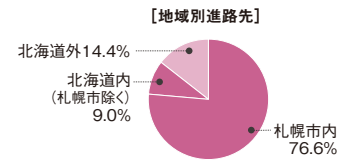
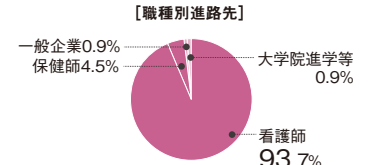


看護福祉学部／看護学科

札幌と首都圏を中心に、
全国の総合病院で卒業生が活躍中。

■2019年3月
卒業生の就職先

求人数	看護師……………10,178人 保健師……………385人
-----	---------------------------------

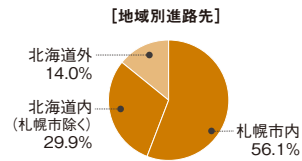
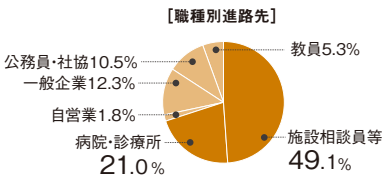


看護福祉学部／臨床福祉学科

施設や病院のほか、公務員、教員、
一般企業とさまざまな分野で活躍。

■2019年3月
卒業生の就職先

求人数	医療機関相談員……………161人 精神保健福祉士・福祉施設相談員・ 介護職員等……………2,449人 一般・総合職等……………5,071人
-----	--

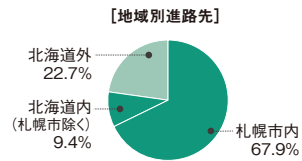
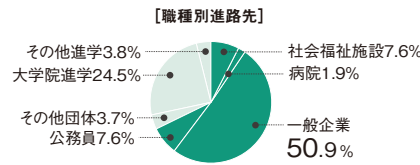


心理科学部／臨床心理学科

業界や業種を問わず、多彩な分野へ。
大学院進学も多数。

■2019年3月
卒業生の就職先

求人数	心理職……………176人 一般事務・その他…5,071人
-----	---------------------------------

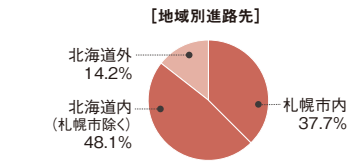
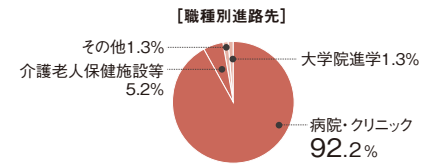


リハビリテーション科学部／理学療法学科

3期生も9割以上が病院へ就職。
道外への就職も多数。

■2019年3月
卒業生の就職先

求人数	理学療法士……………3,025人
-----	------------------

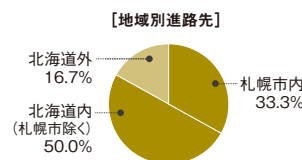
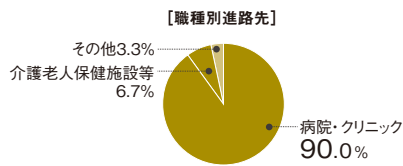


リハビリテーション科学部／作業療法学科

約9割が病院へ就職。全国各地から
寄せられる求人数は約3,000人。

■2019年3月
卒業生の就職先

求人数	作業療法士……………2,934人
-----	------------------

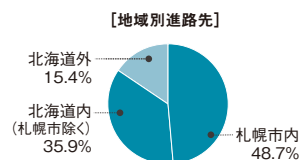
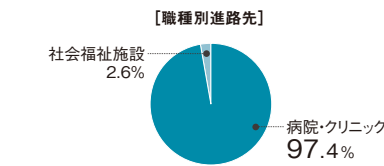


リハビリテーション科学部／言語聴覚法学科

卒業生の約9割以上が、病院の
言語聴覚士に。安定した就職実績。

■2019年3月
卒業生の就職先

求人数	言語聴覚士……………1,796人
-----	------------------

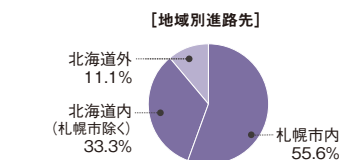
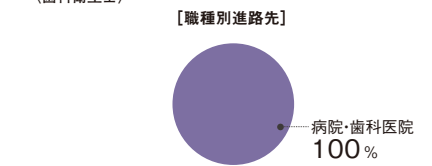


歯学部附属歯科衛生士専門学校

33期連続、
就職希望者全員が就職

■2019年3月
卒業生の就職先
(歯科衛生士)

求人数	歯科衛生士……………717人
-----	----------------



あ の と き の “ ち ょ っ と い い 話 ” 、 今 ま さ に 進 ん で い る “ 新 し い 取 り 組 み ” 。 北 海 道 医 療 大 学 が 、 こ れ か ら 未 来 へ 向 か う 姿 を 探 る た め に 、 本 学 の 歩 み を “ 知 る 人 ” 、 “ つ く る 人 ” に 、 お 話 を う か が っ て い き ま す 。

医療大のつながりを生かせば、常識さえ、変えられるはずです。

看護師から、福祉専門職へ。

社会福祉法人の常務理事、統括事業管理者として、障がい者が暮らしやすい世の中について考えている私ですが、20年以上前に、看護師としての勤務経験があります。1994年、福井県立短期大学（現・福井県立大学）第一看護学科を卒業後、神戸市内の総合病院で勤務しながら進学と保健師の資格取得をめざしていたのです。

進学先を本格的に検討していた際、友人が教えてくれたのが、医療大の看護福祉学部医療福祉学科（現・臨床福祉学科）で編入学生を募集中、という広告。福祉の学科でありながら、看護福祉学部という名の学部にあるため、看護の専門性が生かせるのではないかと。そんな単純な理由と勢いだけで、福祉のことなどまったく知らないまま、北海道へ向かいました。福祉専門職が、かつて私がめざしていた保健師と同じく、地域社会で幅広く活躍できると知ったのは、入学後のことです。

1995年、医療福祉学科1期の3年生となりました。その年は編入学生が多く、私を含めて9名。一般企業で企画や営業を担当していた人、保育士や歯科衛生士の資格を持つ人、親も兄弟も医師という医療一族の人など、多彩なバックグラウンド、自分とは違う価値観を持つ仲間と出会いました。医療大へ行かなかっただら、そんな人たちと出会う機会は一生なかったかもしれません。人とつながることで、自信もついていった学生時代でした。

また、福祉の現場で活躍する先生方が多いのも、医療大の特色です。私の興味に応じて現場とつな



医療福祉学科（現・臨床福祉学科）の第1期生として編入学した9名。写真2列目左、黄色い服を着ているのが小畑さん。多彩なバックグラウンドを持つ仲間との出会いと深い交流は、人とのつながりを大切にし、それを生かしながら事業を展開していく小畑さんのルーツとなった。

いでくれたことは、とても貴重なことでした。卒業研究では、所属ゼミの先生が紹介してくれた精神科病院で患者さんにインタビューを行ったのですが、その病院は卒業後の就職先に。また、現在の職場である社会福祉法人さっぽろひかり福祉会へ誘ってくれたのも、当法人の理事である医療大の先生です。

パンをつくる。その人が変わる。

さっぽろひかり福祉会は、精神・発達障がいのある当事者を中心とした約100名の支援を行っている社会福祉法人です。数ある運営施設の中でも、35名の当事者が、道産食材、オリジナルの天然酵母を使ったパンを製造・販売しているパン工房ひかりは、長年目標にしている年間売り上げ1億円に一歩ずつ近づいています。地域の方々や医療大の関係者にも浸透してきた実感があります。

札幌市営地下鉄東豊線「新道東」駅からすぐという、市街地にあることも特長です。障がい者の事業所は人里離れた場所にあることが多いですが、街中で地域住民の方々と密接に関わりながら、やりがいを持って働くことが大切だと考えるからです。その効果があるのでしょうか。もし、ひかり工房を見学されたら、“障がい？”と思うのではないのでしょうか。生き生きと働く現場では、その平等感がなんといっても魅力です。

私たちが、パンづくりを通してめざしているのは、今までの常識を変えること。つまり、障がいがあっても当たり前のように働き、最低限の生活を送ることができる環境をつくることです。障がい者の問題は、貧困です。たとえば、障がい者の事業所で得られるひと月の工賃は、20年前で3,000円から5,000円程度でした。今でも、就労継続支援B型事業所の道内平均工賃は18,000円です。それを当たり前と見るか、おかしいと見るか。後者と考える私たちは、売り上げを伸ばすことをめざしています。現在は、当事者が最低限の生活を送るための工賃や賃金を支払うことができるようになりました。

当事者の収入が安定することで、その生活にも変化が見えてきました。ローンを組んで車を買った人、一人暮

小畑 友希さん

（看護福祉学部 医療福祉学科 1期生）

大阪府生まれ。看護師としての勤務を経て、本学看護福祉学部医療福祉学科（現・臨床福祉学科）3年次編入学。1997年卒業後、精神科病院ソーシャルワーカーを経て、2000年から光共同作業所（現・社会福祉法人さっぽろひかり福祉会）へ。同法人が運営するパン工房ひかりのサービス管理責任者、施設長などを歴任し、2016年から同法人常務理事、統括事業管理者。本学特別講師、臨床福祉学科同窓会長も務める。



らしをはじめた人、さらには、職場内結婚をしたカップルもいます。働くことは、収入を得られることはもちろん、ライフスタイルやその人自身を変える力にもなる。当事者から、あらためて教わりました。

そして、私たちが売り上げを伸ばせたのは、医療大の先生や卒業生の方々の大きな支えがあったからです。現在、パン工房ひかりの商品は、医療大のキャンパスから、道内各地の医療機関や福祉施設まで、さまざまな場所で取り扱われています。それは、多種多様な場所でリーダーとして活躍している医療大の関係者が、私たちの取り組みを理解し、あたたかい声をかけてくれたからです。

誰もが、福祉に理解のある大学。

さっぽろひかり福祉会では、福祉専門職をめざす実習生の受入れも行っています。また、臨床福祉学科では、私も講義を担当し（3年次「精神保健学II」）、パン工房ひかりをはじめ当法人のさまざまな取り組みを紹介しています。

実習や講義を通して伝えたいのは、人とのつながりを生かして、今までの常識を変えられる、福祉の仕事のおもしろさ。多職種連携を学んだ医療大の学生たちは、幅広い分野に興味を持ち、学部学科を越えたつながりをつくることはできています。ですから、世の中の常識を疑う視点も得てほしいと期待しています。

また、自分のやりたいことや興味のあることを、先生や仲間積極的に発信してほしいと伝えていますが。私も在学中にさまざまな実習先やボランティア先を紹介してもらったように、医療大の先生方は、現場とのつながりが強く、一人ひとりの学びの意欲にしっかりと応えてくれます。

ここは、多職種連携を学ぶ医療系総合大学。関係者の誰もが、福祉に対する理解があります。それこそが、ほかの福祉系学科とは違う、医療大ならではのメリットです。私たちさっぽろひかり福祉会も、医療大のつながりに支えられて、ここまで成長することができました。今まで出会った人。これから出会う人。医療大を通して出会う人の縁を、大切にしてください。いつか、自分で福祉事業をはじめるといふときが来るなら。きっと誰もが、心強い理解者になってくれるはずですよ。

OB訪問

今回訪ねたのは今年卒業したばかりの新林さんです。介護老人保健施設を活躍のステージに選択した理学療法士の、「在宅」をキーワードにした高齢者の自立にける思いをお聞きました。

介護老人保健施設
月形緑苑(つきがたりよくえん)

新林 裕太さん (リハビリテーション科学部理学療法学科2019年3月卒業)

| きっかけは臨床実習。

当別町の隣町、月形町に沼を中心に27haの憩いの空間を広げる皆楽公園。水と緑が調和するこの公園に隣接する月形緑苑が新林さんの職場です。月形緑苑は超強化型*介護老人保健施設(以下、老健)で、今年4月には訪問リハビリテーションも始まりました。

本学理学療法学科卒業生の多くが医療機関へ就職する中、新林さんは老健を志望しました。きっかけは老健での臨床実習です。「就職先は自分のやりたいことが明確に見えてから決めよう」と考えていた新林さんが4年生の夏になって臨んだのが老健、浦河緑苑での3週間の実習でした。そこで「自分のしたい仕事はまさにこれだ」と確信したといいます。

※「施設から在宅へ」を基本方針に掲げる国は、介護老人保健施設をその在宅復帰機能から5つに分類。「超強化型」は在宅復帰・在宅支援機能が最も高いと認められた施設です。

| 進む道が見えた。

老健の実習で、新林さんは利用者さん宅の訪問が意外に多いことに興味を引かれました。「訪問リハビリテーションや在宅復帰前訪



通所利用者さんのいきいき体操。取材日は真夏日。笑顔で声をかけながらも利用者さんの様子をしっかりと観察、回数を調整するなど、頭の中ではクールな判断をしています。

問に同行しました。利用者さんの生活の場に身を置いて、手すりの設置や段差の解消など環境面も含めて必要なリハビリテーションを考えることに、理学療法士の仕事の広がり、面白さを感じました」。その前に経験した病院実習で患者さんの退院後を想定したリハビリテーションを行ううち、退院後の実際の生活への関心が高まっていたといいます。

そして、在宅復帰・支援に注力する老健で働くことを希望、実習先のグループ施設である月形緑苑に就職しました。まだ回数は少ないものの、新規利用者さん宅を訪問し、生活範囲、生活スタイルをその目で見て、聞き取って、必要な動作のリハビリテーションを導き出す過程にやりがいを感じています。

| 時には作戦を立てて。

現在、新林さんは月～金曜、午前中とお昼過ぎは通所利用者さん、午後は入所者さんのリハビリテーションを行っています。担当するのは通所・入所合わせて15名。「まだ先輩たちの3分の2程度なので、同じだけ担当できるようになるのが直近の目標です」と意気込みます。

入所利用者さんの中には認知症の方もいます。新林さんは当初こそとまどうこともあったものの、いまでは声かけのタイミングも計れるようになりました。「居室に迎えに行きあいさつした時の表情で、リハビリテーション室へ移動できるか、あらためて迎えに来たほうがいいのか判断できるようになりました」。リハビリテーション嫌いの利用者さんには「通所のお友だちが来ていますよ。会いに行きましょう」との声かけが功を奏することもあるそうです。一人ひとり、その日の状況に応じたコミュニケーション手法が日々磨かれています。



新林さんを含め5名の理学療法士と3名の作業療法士が専門性を融合させ、垣根を乗り越えて利用者さんごとのリハビリテーションが組み立てられます。チームワークのよさも利用者さんのモチベーションアップの要素の一つ。左は本学OB、2017年卒業の作業療法士・畑山拓大さん。

| 4年間を糧に。

本学での4年間を「勉強することが多く大変。でもその分充実していました」と振り返る新林さん。解剖学実習で献体されたご遺体を前に、命、死と真正面から向き合ったこと、人体の複雑さ、緻密さを目の当たりにしたことからも医療職としての覚悟や使命感が育てられたようです。

「まだ先ですが、知識、経験を増やし、在宅をキーワードにした症例発表ができるようになりたいし、得意分野、専門性ももちたい。そして、ゆくゆくはリハビリテーション部門をまとめられるような人としての大きさももちたいですね」。めざす理学療法士像へ、新林さんのキャリアは始まったばかりです。



在学中はダンス同好会PRANCYに所属。3年次には「第2回全道大学最強ダンスバトル アルキタ杯」で接戦の末、優勝。前列でプレートを持つ新林さんの後ろは、双子の弟亮太さん。亮太さんは本学卒業生の言語聴覚士。現在、岩見沢の病院で活躍中です。

REPORTS

Sapporo Ainosato Campus

札幌あいの里 キャンパスレポート

2019年4月に新設された医療技術学部臨床検査学科の学生は、札幌あいの里キャンパスで学んでいます。どんな学生生活を過ごしているのか、3名の学生ナビゲーターとともにレポートします。

私たちが
ご案内します！

宮崎 史帆さん
(釧路湖陵高校卒)

東 泰雅さん
(札幌新川高校卒)

岩淵 恵里さん
(盛岡北高校卒)



ベルトコンベアの
速さや角度が
変わる！

脳波計や筋電計などの検査機器が 並ぶ「生理機能解析室」

生理機能検査は心電図や肺機能検査、さらには聴覚機能検査など体の構造や機能を調べる検査です。この実習室では、さまざまな検査機器を使い、実践しながら原理や操作方法を学び、理解を深めます。

運動中の心電図を検査することにより心臓の病気の有無や治療の効果を調べる「トレッドミル検査」。狭心症や不整脈の診断に使用されます。



新発見が
続々！



生命科学を解き明かす研究機器

卒業研究はテーマがさまざまで、がん細胞を培養することも。あらゆるテーマに対応した研究機器がそろっています。

臨床化学
実習が楽しみ！



現代医療に欠かせない「自動分析装置」

臨床検査は、自動分析化が進んでいます。実習時にも、最新の自動分析装置の仕組みや使用方法を学びます。



先進の高画質で学べる 機能性能に優れた超音波装置

質の高い検査技術の習得をサポートする基礎性能に優れた超音波装置です。多彩なアプリケーションで、腹部・表在・循環器をはじめとする、幅広い臨床領域を実践できます。3年次の「画像検査学演習」で学びます。

超音波検査は腫瘍や胆石、心臓の動きや血管の病気を調べるなど用途が広い。



医療技術学部棟

北海道医療大学病院

地域包括ケアセンター





肉眼では見えない細胞や微生物を観察する、「形態解析室」

この実習室には、1人1台の顕微鏡が用意されています。さらに、標本を一度に数人で診ることができるディスカッション顕微鏡を使用したり、CCDカメラでスクリーンに顕微鏡画像を映すことで、複数人で同じ標本を観察することができます。



座学が行われる「講義室1」は、空き時間も学生が利用

講義室1は、新入生が最も馴染み深い教室。ここでは、さまざまな専門科目の講義を受講します。昼休みや放課後は、自習室としても使用できます。



開放的な雰囲気!

明るい「学生ロビー」は勉強にも息抜きにもピッタリ

窓側にはテーブルとイスが並べられ、色々な資料を広げて勉強するにも、友だちとランチをするにも便利です。奥にはソファが用意されていて、リラックスしたり、おしゃべりできる憩いの場となっています。



1番人気はカレーライス(300円)

安くボリュームがある「学食」も人気

定番メニューや日替わり定食など、メニューはたくさん。営業時間外には、自習スペースとして開放されています。



友だちと一緒に勉強することも

文献や資料が豊富な「総合図書館」はテスト前はもちろん、レポート作成時の強い味方

医学や医療の基礎知識、臨床検査の専門科目を理解するのは、とても大変。札幌あいの里分館は、当別キャンパスの図書も取り寄せられ、約70席の学習スペースもあるので、勉強に集中しやすい環境です。



医科10科、歯科4科を設置する「北海道医療大学病院」が隣接

臨床検査室はもちろん、医療心理室や言語聴覚治療室、リハビリテーション室もある北海道医療大学病院は、教育・研究機関としての役割もあり、実習教育にも対応します。



光が差し込み清潔な雰囲気

ガールズトークに花が咲く!?「パウダールーム」

女性専用のパウダールームは、壁面が鏡張りになっています。メイク台とイスが用意されているので、友だちとおしゃべりを楽しみながらメイク直しができます。



地域住民の方の交流サロン

多職種連携を実践的に学べる「地域包括ケアセンター」

訪問看護ステーションと居宅介護支援事業所、在宅歯科診療所が併設されており、地域交流の場としても機能しています。地域で暮らす方々の生活に密着した実習が行われ、在宅医療・介護の現場で必要とされる高度な専門性を深めています。

YOSAKOIソーラン祭り部

第28回YOSAKOIソーラン祭り成績

ファイナル進出!

「優秀賞」を受賞!

「地方車賞」を受賞!



第28回YOSAKOIソーラン祭りで、ファイナル進出! 優秀賞・地方車賞を受賞しました!

6月5日(水)から9日(日)まで、札幌の初夏を彩る北海道随一の大イベント「第28回YOSAKOIソーラン祭り」が開催されました。本学YOSAKOIソーラン祭り部(チーム名『THE☆北海道医療大学』・部員約120名)は、見事ファイナル進出。優秀賞・地方車賞を受賞しました。

チーム結成25周年を迎えた今年のテーマは、「森の宴2019」。19年

前のテーマをブラッシュアップした特別な内容で、若さと躍動感あふれる演舞を披露しました。その素晴らしい演舞に、札幌市内の各演舞会場では、観客から大きな拍手と声援が送られました。

応援、ご協力いただきました大学近隣住民の皆様、OB・OGの皆様、関係者の皆様、本当にありがとうございました。



ずっと健康でいて欲しい!はつらつ教室 ～保健師養成コース学生によるがん予防教室～

7月31日(水)、札幌あいの里キャンパスの地域包括ケアセンターにおいて、本学看護福祉学部看護学科の保健師養成コース学生によるがん予防教室が開催されました。あいの里地区の地域住民を対象として、がんと生活習慣との関係をはじめ、毎日の生活習慣からがんを予防する方法を紹介しました。当日は血圧測定なども併せて実施され、終始あたたかい雰囲気の中で地域住民と学生との交流がみられました。



学生と
卒業生が協働!

Seminar Reports

からだゼミナール 2019

理学療法士をめざす高校生も参加して、 地域住民の健康増進を促す取り組みを実施。



40cm・30cm・20cm・10cmという4種類の高さを用意して「立ち上がリテスト」を実施。よるける方も多いため、傍に在学生在が待機してサポート。



立ったまま腕を前方に伸ばし、リーチできる最大距離を測定。これにより身体のパランスがチェックできる。

それを習慣にすることが筋力や体力の向上につながることを伝えていました。

在學生はもちろん、 高校生や卒業生にも好評

大盛況に終わったイベントの感想を聞いてみたところ、在學生からは「準備は大変でしたが、先輩や仲間の力を借りて形にできてよかった」という声がありました。また、高校生からは「実際に体験したことで、理学療法士になりたいという気持ちが高まった」、卒業生からは「成長が実感できた後輩たちが社会に出て、一緒に仕事をするのが楽しみ」という感想が寄せられました。参加者にとって、有意義な1日となったようです。

健康増進の大切さを 伝える初めての試み

3月23日(土)、札幌市北区的あいの里地区センターにおいて、リハビリテーション学部理学療法学科が主催する「からだゼミナール」が初めて開催されました。これは地域住民の方々に身体機能測定を行い、一緒に介護予防体操をすることで、健康寿命を延ばす大切さを伝えることを目的に行われた取り組みです。

当日は学生12名、同科の卒業生が7名、理学療法士をめざす高校生6名が参加。まず、初対面の緊張感をほぐすアイスブレイキングを行いました。その後は評価会場に向かい、グループごとに担当する身体機能測定のやり方や役割を確認。昼食後のイベント開催に備えました。



午前中はアイスブレイキングの一環として、ワークショップも実施。6つのグループに分かれて、3つのテーマについて話し合い、結果をプレゼンテーションした。

積雪の中たくさんの 地域住民の方が来場

当日は積雪により足元が悪かったものの、12時30分の受付開始前から、地域住民の方々が来場されました。身体機能測定のために用意されたのは、「重心動揺計」「スパイロメトリー」など6種類の機器です。来場者が正確に機能測定できるように、卒業生や教員が在學生や高校生をフォローし、健康に関する質問にも対応していました。

また、身体機能測定終了後は、会場にイスを並べ、来場者と参加者一同で健康体操を実践。冬期間に自宅で座ったままできる体操のやり方だけでなく、



在學生の声けに合わせて、全員で「当別シャッキリ体操」を実践。座ったままできるとあって、地域住民の方も熱心に取り組んでいた。



参加してくださった地域住民の方々をお見送りした後、参加者全員で記念撮影。ワークショップやイベントでの共同作業を通して、参加した高校生・在學生・卒業生の距離も縮まった。

歯学部の森真理講師(高度先進保存学分野)が「JACP/JSPポスター賞 General/Clinical Research部門優秀ポスター賞」を受賞

森講師が、カナダ・バンクーバーで開催された第104回アメリカ歯周病学会共催日本臨床歯周病学会・日本歯周病学会2018年大会で、「JACP/JSPポスター賞 General/Clinical Research部門優秀ポスター賞」を受賞しました。研究発表の演題は、「The association of anti-phospholipid antibody with Behcet's disease.」です。5月24・25日(金・土)に横浜市で開催された第62回春季日本歯周病学会学術大会でその表彰式が行われました。



台湾で開催された国際シンポジウムで本学教員と大学院生が優秀発表賞を受賞

6月22・23日(土・日)、台北市において台湾血液材料学会国際シンポジウムが開催され、多くの国からさまざまな分野の研究者が参加して活発な討論が行われました。本シンポジウムでは若手研究者の発表に対する審査も行われ、本学のMd Riasat Hasan 助教(演題:Use of enamel matrix derivative to prevent ankylosis of tooth)と大学院歯学研究科2年のBayarchimeg Altankhishigさん(演題:Micro-tensile bond strength test of self-etching bond with fluoride-containing zinc and copper nanocomposite)がともに優秀発表賞(第2位)を受賞しました。



寺田裕歯科医師(北海道医療大学病院歯科部)が日本歯科保存学会優秀論文賞を受賞

寺田歯科医師が、日本歯科保存学会の機関誌である日本歯科保存学雑誌61巻2号に筆頭著者として掲載された論文「脂質異常症患者における残存歯数および重度歯周炎と頸動脈内中膜厚との関連性」が、2018年度の日本歯科保存学会歯周病学分野における年間最優秀論文として認められ、日本歯科保存学会優秀論文賞を受賞しました。6月27・28日(木・金)に金沢市で開催された日本歯科保存学会2019年度春季学術大会(第150回)でその表彰式が行われました。



EDITOR'S NOTE

時の流れは早いもので2019年も半分以上の月日が慌ただしく過ぎてしまいました。2019年の前半を振り返ると節目を迎えた出来事が2つありました。まず、北海道医療大学においては6つ目の学部である医療技術学部臨床検査学科を新設しました。また、5月1日(水)には新天皇が即位され、新たな元号である令和の時代が始まりました。“令和”は「初春の令月にして、気淑く風和らぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫らす」という万葉集の梅花の歌の序からの出典で、初めて日本の古典から選ばれたことが話題となりました。

本学は薬学部の開設に始まり、昭和・平成・令和の3時代45年の歴史を歩み6学部9学科を有する医療系総合大学に発展してきました。これで4年後には毎年700名を超える卒業生を保健・医療・福祉の現場に輩出することになります。この編集後記を執筆するにあたり、東北以北で最大級の医療系総合大学に恥じないよう、学科・学部を越えた“令和”を大切にして働いていきたいと改めて思いました。

(S-K記)

ADVANCE

北海道医療大学広報誌 No.173

STAFF ● 遠藤 泰 浜上 尚也 志茂 剛 飯嶋 雅弘
八木 こずえ 白石 淳 真島 理恵 澤田 篤史
児玉 壮志 下村 敦司 近藤 啓 高橋 祐輔
山形 摩紗 杉谷 昌彦 三川 清輝 小林 伶

発行日 ● 2019年9月

編集・発行 ● 北海道医療大学広報部 入試広報課
〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757
TEL: 0133-22-2113
http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/

広報誌についてのご意見・ご要望・情報等をお待ちしています。
E-mail: nyushi@hoku-iryo-u.ac.jp



■北海道医療大学の教育理念
生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を育成することによって地域社会ならびに国際社会に貢献することを北海道医療大学の教育理念とする。